

看護支援用ナースコールソフト ユーザーズガイド < 操作編 >

品番 VH-Y800

もくじ

はじめに

はじめに	2
< 操作編 > に出てくる用語について	2
システム構成	3
主な機能	4
本ソフトウェアの起動と終了	5
画面構成	5
ボタン表示について	6

基本操作

通話する	
患者さんから呼ばれたら (応答通話)	8
患者さんを個別に呼び出し、通話する (選局通話)	8
放送する	
任意の患者さんに放送する (選局放送)	9
すべての患者さんに放送する (一斉放送)	9
ハンド子機のコネクターがはずれたら (脱落警報確認)	10
オプションまたはセンサーからの入力を 確認する	11

設定・その他

ナースコール機能を設定する	
優先順位 (着信優先順位) の設定	12
優先順位 (着信優先順位) の解除	13
呼出チームの設定	14
PSグループの設定	16
夜間転送の設定 / 解除	17
看護支援システム	
看護支援システムの起動	18
ポップアップ表示機能	18
看護グループ連動機能	18
困ったとき	19
保証とアフターサービス	裏表紙

保証書別添付

取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。そのあと保存し、
必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」など
の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取り
ください。

はじめに

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

「看護支援用ナースコールソフト」は、デジタルペア線ナースコールシステムに接続されたパソコンでの、着信表示、およびタッチパネルディスプレイによる選局操作、各種設定用ソフトウェアです。また、看護支援システムとの連動により、画面に患者名、救護区分などを表示します。

本書は、「看護支援用ナースコールソフト」の操作方法について説明しています。

インストールについては..... 「インストールマニュアル」

画面作成については..... 「ユーザーズガイド<画面作成編>」

を参照してください。

著作権について

Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

< 操作編 > に出てくる用語について

< 操作編 > をお読みいただく前に理解しておいていただきたい用語です。

パソコン WindowsNTと本ソフトウェアがインストールされたパソコン本体を指します。
パソコンの操作などについては、パソコンの取扱説明書を参照してください。

タッチパネル タッチパネルディスプレイ。

タッチする タッチパネル画面上に表示されるボタンを「押す」(選択する)動作。

看護支援システム ... 患者情報、看護スケジュールなどを管理するソフトウェア。本ソフトウェアは、この看護支援システムのデータベースを使用しています。患者名、看護グループの変更などは、看護支援システムを起動し、その画面上で行います。

親機 パソコン連動通話機、ナースコール通話機を指します。

パソコン連動通話機は、パソコン本体に接続しています。

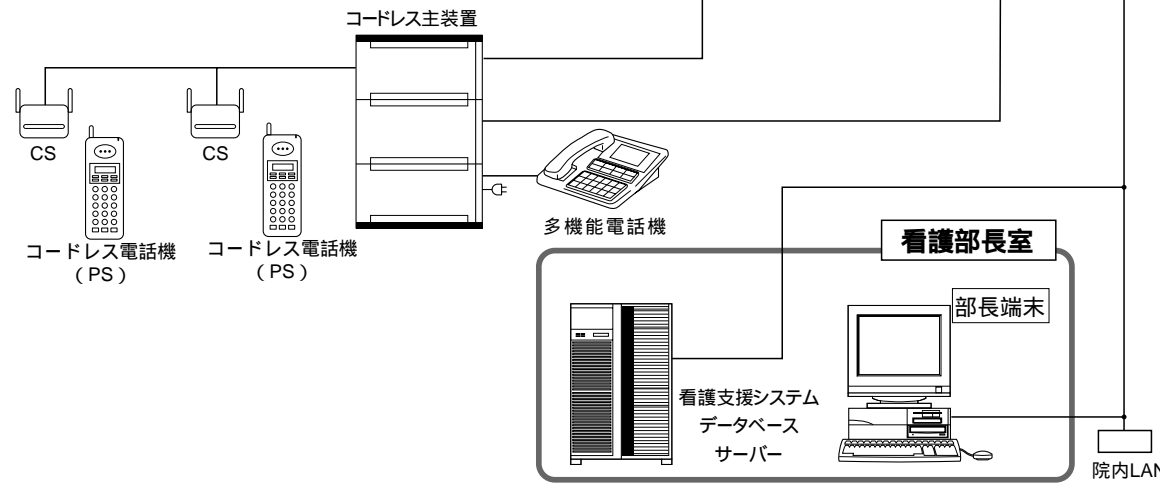
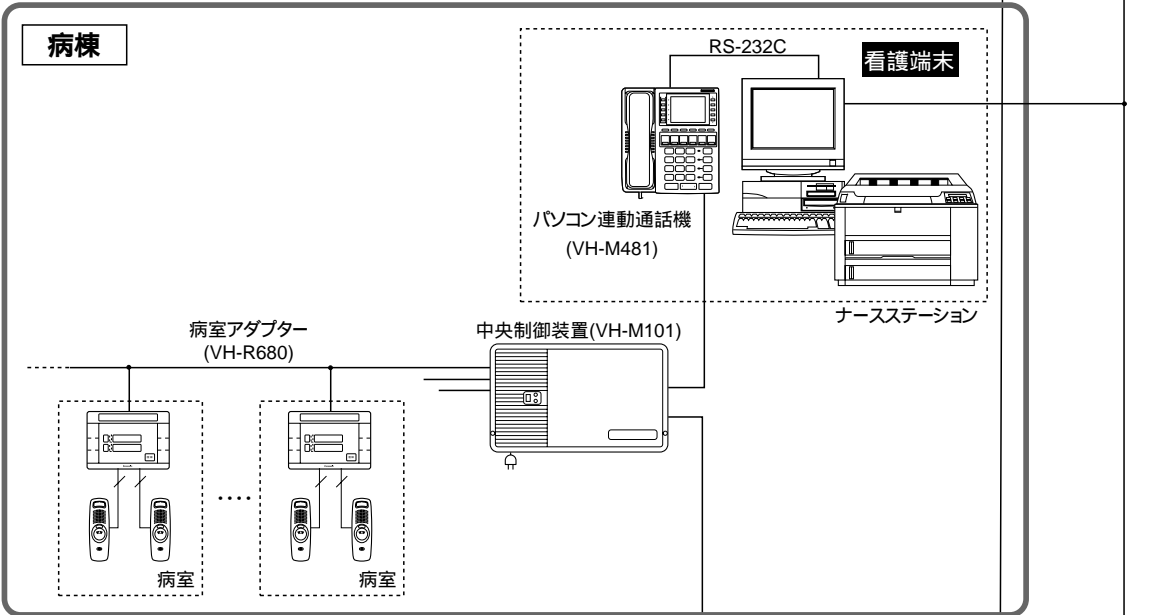
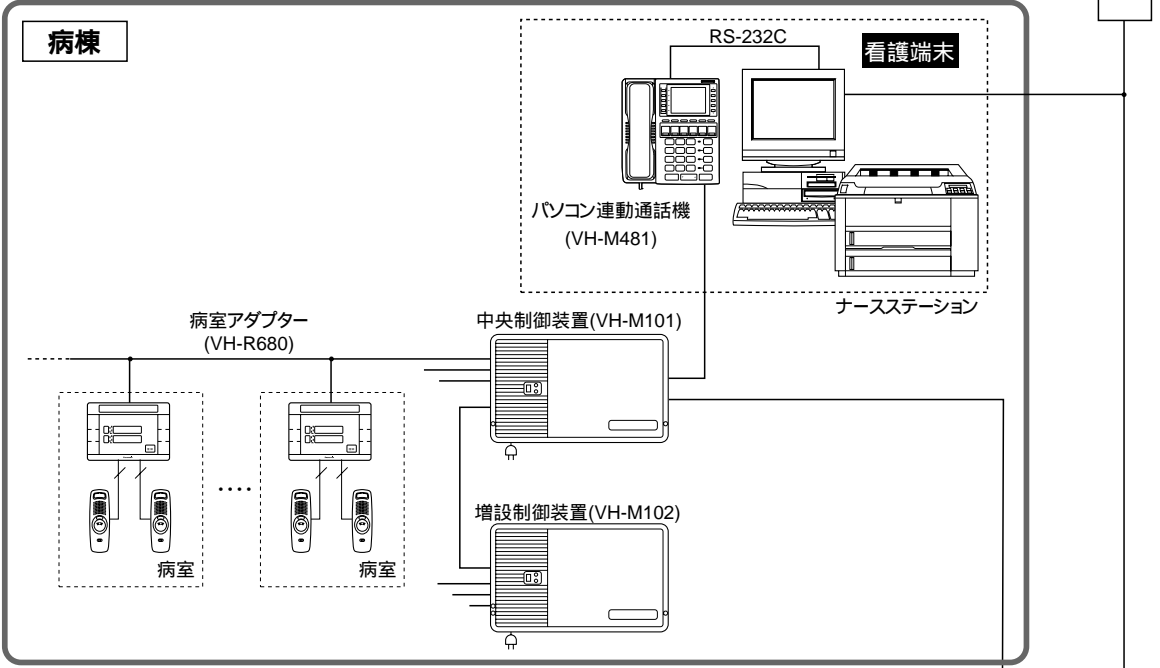
ナースコール通話機は、ナースコールシステムに接続しています。

パソコン連動通話機とナースコール通話機の外観と操作のしかたは同じです。

詳しくは、ナースコールシステムの取扱説明書を参照してください。

システム構成

デジタルペア線ナースコールシステム **看護支援システム**



主な機能

通話、選局機能

個別通話（応答通話、選局通話） 選択した1人の患者さんと通話を行います。

選局放送 選択した複数の患者さんに対して放送を行います。

一斉放送 病棟すべての患者さんに対して放送を行います。

除局一斉放送 選択した患者さん以外の患者さんに対して放送を行います。

優先順位設定機能

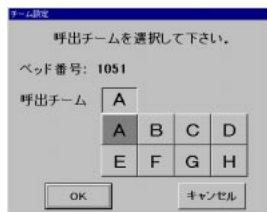
ナースコールが複数発生した場合の、着信優先順位の設定を行います。

チームナーシング機能

呼出チーム設定 患者さんごとにコードレス電話機の呼出チーム（A～H）を設定します。（最大8チーム）

PSグループ設定 呼出チームごとに、さらに2つのグループに分かれており、それぞれに番号（1～64）がついています。その、どちらのグループのコードレス電話機を呼び出すのかを設定します。

< 設定例 >



左の設定例では、ベッド番号1051の患者さんから呼び出しがあった場合、呼出チームAのグループ1が呼び出されます。

夜間転送設定機能

夜間転送設定を行います。

夜間転送中は、すべての着信が親機1（ 1 ）に転送されます。

- 1 接続されている親機の中で、液晶表示右上に「オヤキ1」と表示されている機器。

看護支援システム表示機能

看護支援システムのソフトウェアを起動します。

着信時、通話時は、ポップアップウィンドウを表示します。

本ソフトウェアの起動と終了

起動のしかた

- 1 パソコン本体の電源を入れる（使用しているパソコンの取扱説明書を参照してください。）と、本ソフトウェアの利用者選択画面（下記参照）が表示されます。

終了のしかた

- 1 「Alt」 + 「F4」キーを押すと、終了確認ウィンドウが表示されます。
- 2 「はい」ボタンをタッチする。または「Y」キーを押す。
ソフトウェア終了後、パソコン本体の電源が切れます。

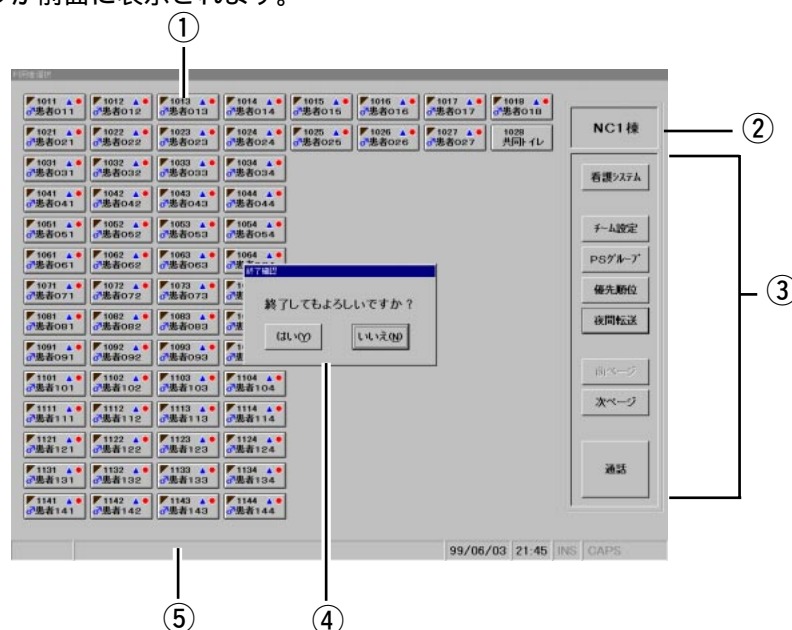
終了をやめるには

「いいえ」ボタンをタッチします。終了確認ウィンドウが閉じます。

画面構成

利用者選択画面

本ソフトウェア運用中は、利用者選択画面を表示します。操作時には、各ウィンドウが前面に表示されます。



- ①ベッド(施設)ボタンエリア : ボタンの説明は7ページ。
- ②病棟名 : 本システムが管理する病棟の名称を表示します。
- ③処理ボタンエリア : 本画面で使用する処理ボタンを表示します。
- ④ウィンドウ : 利用者選択画面以外のボタンや操作指示などを表示します。
- ⑤メッセージエリア : 着信、放送、エラーなどのメッセージを表示します。
新しい着信があった場合は上書きされます。
通話などの操作を行うと、着信順に表示されます。

ボタン表示について

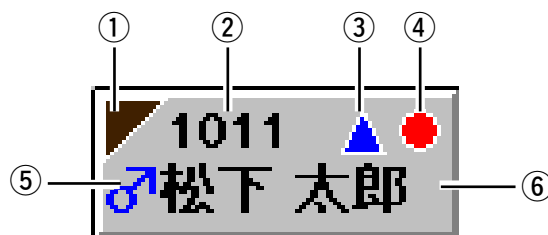
処理ボタン



- ① 「看護システム」ボタン : 本ソフトウェアを一時的に終了し、看護支援システムを起動します。
- ② 「チーム設定」ボタン 1 : チーム設定画面を表示します。
- ③ 「PSグループ」ボタン 1 : PSグループ設定画面を表示します。
- ④ 「優先順位」ボタン 1 : 優先順位設定画面を表示します。
- ⑤ 「夜間転送」ボタン : 夜間転送設定を行います。
- ⑥ 「前ページ」ボタン : ベッドボタンエリアが複数ページにまたがる場合(2)
「次ページ」ボタン : このボタンでページを切り換えます。
- ⑦ 「通話」ボタン : 通話したい患者さんのベッドボタンを選択後、このボタンをタッチすると通話できます。

- 1 画面作成時設定。使用しない機能の処理ボタンは表示されません。
- 2 複数ページの場合、以下のような「ページ自動切換機能」が働きます。
(優先順位などの画面を表示中でも、その画面の下でページが切り換わります。)
(1) 子機と通話を開始すると、該当ベッドのあるページを自動的に表示します。
(2) 着信があると、呼出元のベッドがあるページを自動的に表示します。
ただし、
・すでに画面上に呼出中(または脱落警報中など)のベッドがある場合、
・すでに画面上に通話中、放送中のベッドがある場合、は働きません。

ベッドボタン



- ①看護グループ : 患者さんの看護グループを色表示します。
看護支援システムの看護グループに連動して表示します。
- ②ベッド番号 : 部屋番号 + 子機番号を4けたで表示します。
- ③在室区分 : 在室状況を記号表示します。
無印 : 在室
: 外出
: 外泊
- ④救護区分 : 救護区分を色表示します。(空きベッドはベッド番号のみ表示)
赤色 : 担送
黄色 : 護送
青色 : 独歩
- ⑤性別 : 患者さんの性別を記号表示します。
: 男性
: 女性
- ⑥患者氏名 : 患者さんの氏名を表示します。表示は氏名の先頭から最大5文字(スペース含む)となります。

施設ボタン (トイレなど)



- ①ボタン番号 : ボタン番号を4けたで表示します。
- ②施設名 : 施設名称を最大5文字で表示します。

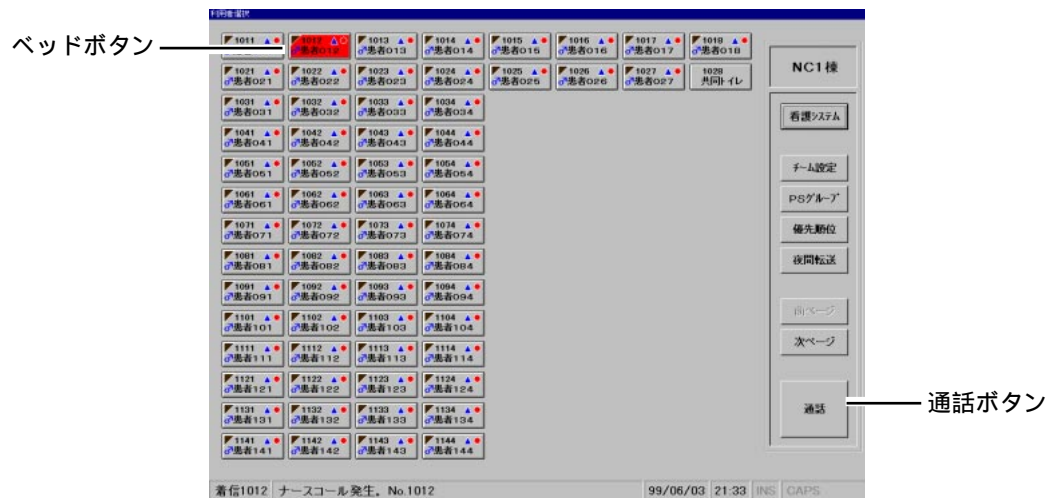
ボタンの色表示

ナースコールの状態を、ベッドボタンの色を変えて表示します。
ボタンを選択(タッチ)すると、ボタンの色が濃くなります。
ボタンを選択後、30秒以上ボタンをタッチしない状態が続くと、選択は解除されます。

- 灰色 : 待機状態...通常の何も無い状態です。
赤色 : ナースコール状態...患者さんからの呼び出しがある状態です。
緑色 : 通話状態.....患者さんと通話中または放送中の状態です。
紫色 : 脱落断線.....ハンド子機のコネクターが抜けている状態です。
水色 : オプション、またはセンサー入力状態

基本操作

通話する



患者さんから呼ばれたら（応答通話）

画面：呼び出しているベッドボタンが赤色表示に変わります。

親機：呼出音が鳴り、着信ランプが点滅。

1. 通話するベッドボタンをタッチする。

画面：タッチしたベッドボタンの色が濃くなります。

2. 「通話」ボタンをタッチする。

画面：選択したベッドボタンが緑色表示に変わります。

親機：着信ランプが消灯。

3. 親機の手話器を取り、通話する。

上記1、2の操作をせずに、3の操作だけで通話することもできます。

患者さんを個別に呼び出し、通話する（選局通話）

1. 通話するベッドボタンをタッチする。（1局のみ）

画面：タッチしたベッドボタンの色が濃くなります。

ベッドボタンを間違えたときは、そのベッドボタンをもう一度タッチして、選局を解除してから通話するベッドボタンをタッチします。

2. 「通話」ボタンをタッチする。

画面：選択したベッドボタンが緑色表示に変わります。

3. 親機の手話器を取り、通話する。

プレストークボタンを押しながら通話することもできます。

放送する



任意の患者さんに放送する（選局放送）

1. 放送したい患者さんのベッドボタンをタッチする。（最大20局）

画面：タッチしたベッドボタンの色が濃くなります。

お知らせ ・一度にページをまたがって選択することはできません。

2. 「通話」ボタンをタッチする。

画面：放送されるベッドボタンが順次緑色表示に変わります。

3. 親機の受話器を取り、放送する。

受話器を取り、「放送」ボタンを押したまま放送すると、上記1で選局した患者さんを除いて（このときベッドボタンが灰色表示に変わる）放送することができます。

（除局一斉放送）

お知らせ ・選局放送は最大20局までです。それ以上選択しても無効となります。
・選局ベッド数が多い場合、すべて緑色表示に変わるまでに数秒かかります。

すべての患者さんに放送する（一斉放送）

1. 親機の受話器を取る。

2. 親機の「放送」ボタンを押したまま、話す。

画面：放送されるベッドボタンが緑色表示に変わります。

複数の病棟を1台の親機で管理している場合

- 親機の受話器を取る。
- 親機のダイヤルボタンで、放送したい病棟番号を押す。
- 親機の放送ボタンを押したまま、話す。

お知らせ ・一斉放送は病棟ごとにしか行えません。
・病室内で他の親機と通話中の患者さんがいる場合は、その病室には一斉放送されません。

ハンド子機のコネクターがはずれたら（脱落警報確認）

脱落警報が発生すると...

画面：該当するベッドボタンが紫色表示になります。

親機：脱落警報音（ルルル）が鳴り、脱落の表示をします。

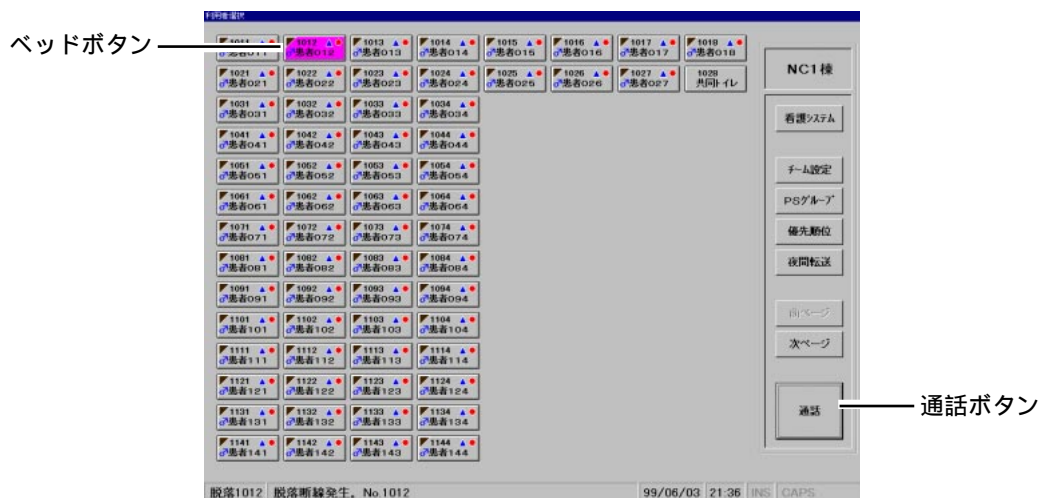
1. 確認するベッドボタンをタッチする。

画面：タッチしたベッドボタンの色が濃くなります。

2. 「通話」ボタンをタッチする。

画面：メッセージエリアの表示が消えます。

親機：脱落警報音が停止します。



親機の脱落警報表示およびベッドボタンの紫色表示は、ハンド子機のコネクターを正しく接続すると消えます。

- お知らせ**
- ・親機で脱落警報音を鳴らすためには、制御装置でのプログラム設定が必要です。
 - ・親機で通話中または放送中の場合、画面上からは確認操作できません。

オプションまたはセンサーからの入力を確認する

オプションまたはセンサーの入力があると...

画面 : 該当するベッドボタンが水色表示になります。

親機 : 着信音(ピコピコ)が鳴り、オプションまたはセンサー入力の表示をします。

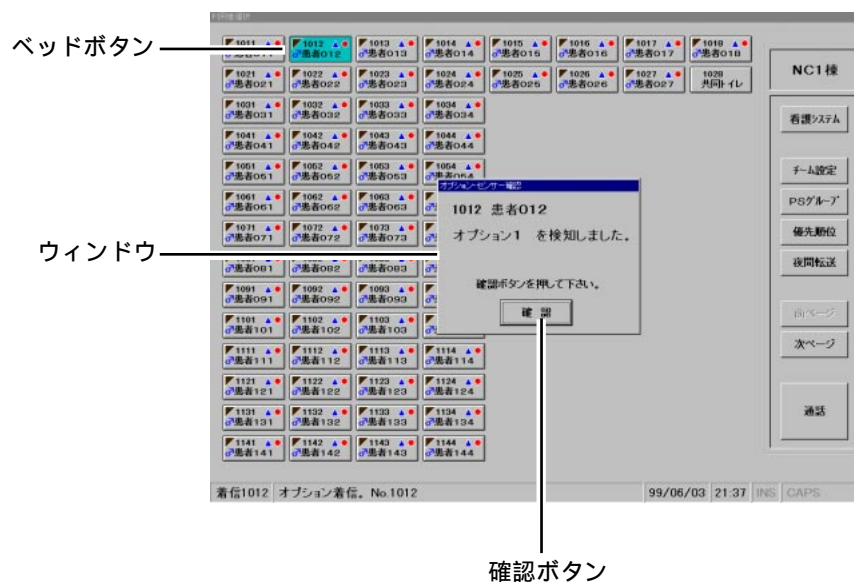
1. 確認するベッドボタンをタッチする。

画面 : ウィンドウが表示されます。

2. 「確認」ボタンをタッチする。

画面 : ウィンドウが閉じて、該当するベッドボタンが灰色表示に戻ります。

親機 : 着信音が停止し、オプションまたはセンサー表示も消去されます。



設定・その他

ナースコール機能を設定する

優先順位（着信優先順位）の設定

1. 優先順位を設定するベッドボタンをタッチする。

画面：タッチしたベッドボタンの色が濃くなります。

2. 「優先順位」ボタンをタッチする。

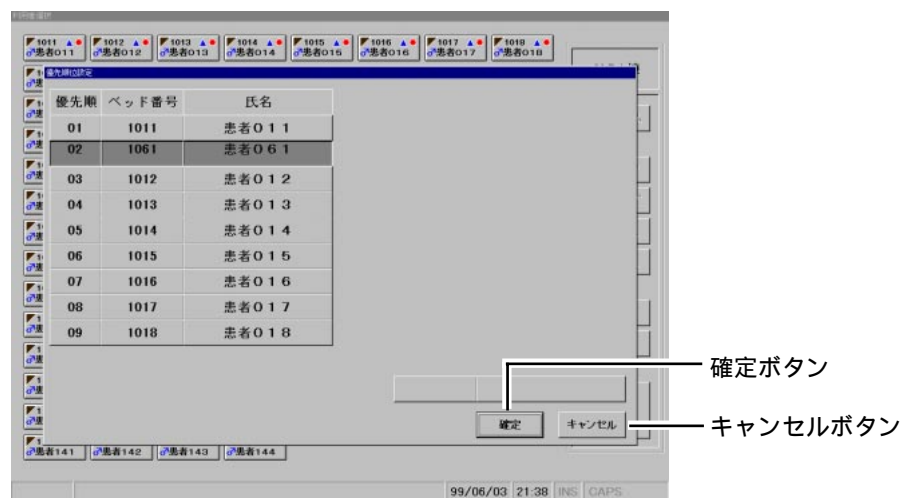
画面：優先順位設定画面が表示され、選択したベッドが最下段の一時保管エリアに表示されます。



すでに設定されているベッドの場合、そのベッドが選択された状態になります。

3. 設定したい順位の行をタッチする。

画面：指定した順位に挿入されます。



優先順位が20個設定済みだった場合、20番目のベッド番号は削除されます。

4. 順位設定が完了したら、「確定」ボタンをタッチする。

画面：利用者選択画面に戻ります。

「キャンセル」ボタンをタッチすると、設定せずに終了します。

優先順位（着信優先順位）の解除

1. ベッドを選択せずに、「優先順位」ボタンをタッチする。

画面：優先順位設定画面が表示されます。

2. 優先順位を解除したいベッドの行をタッチする。



3. 一時保管エリアをタッチする。

画面：先に選択した行が一時保管エリアに移動し、これ以降の行が1行ずつ繰り上がります。



4. 「確定」ボタンをタッチする。

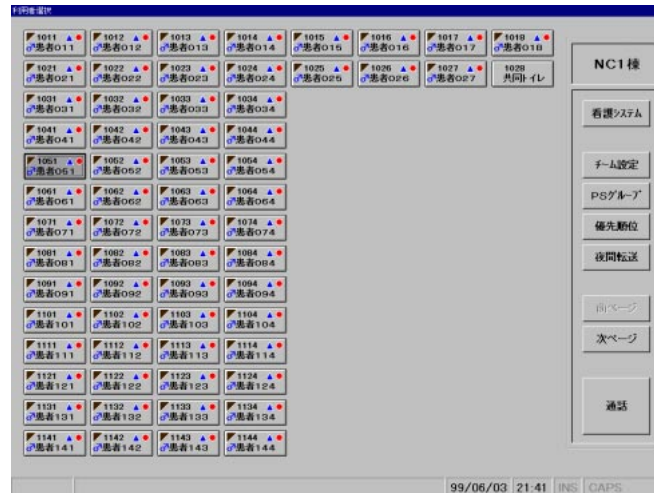
画面：利用者選択画面に戻ります。

「キャンセル」ボタンをタッチすると、設定せずに終了します。

呼出チームの設定

1. チーム設定を行うベッドボタンをタッチする。

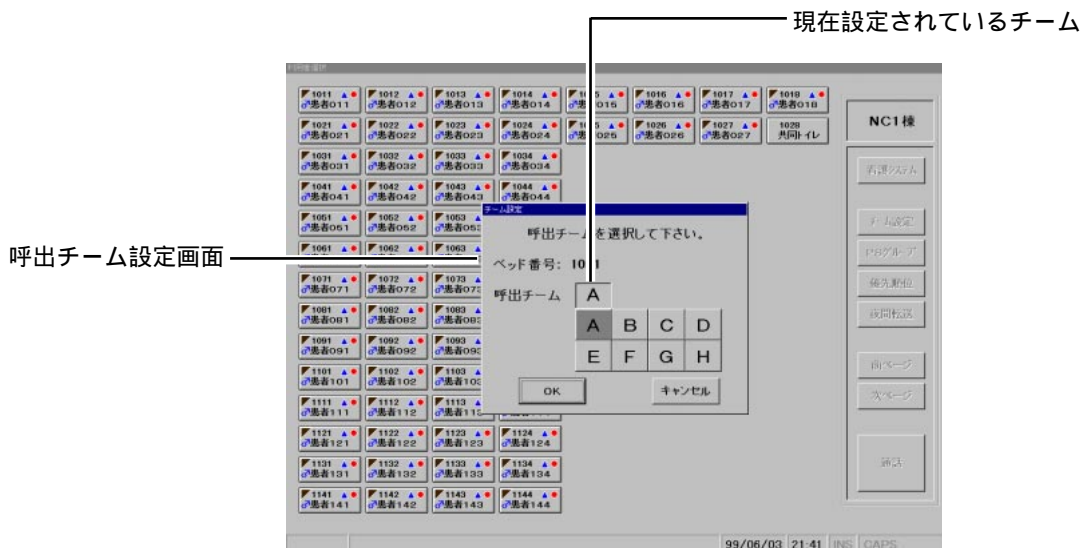
画面 : タッチしたベッドボタンの色が濃くなります。



2. 「チーム設定」ボタンをタッチする。

画面 : 呼出チーム設定画面が表示されます。

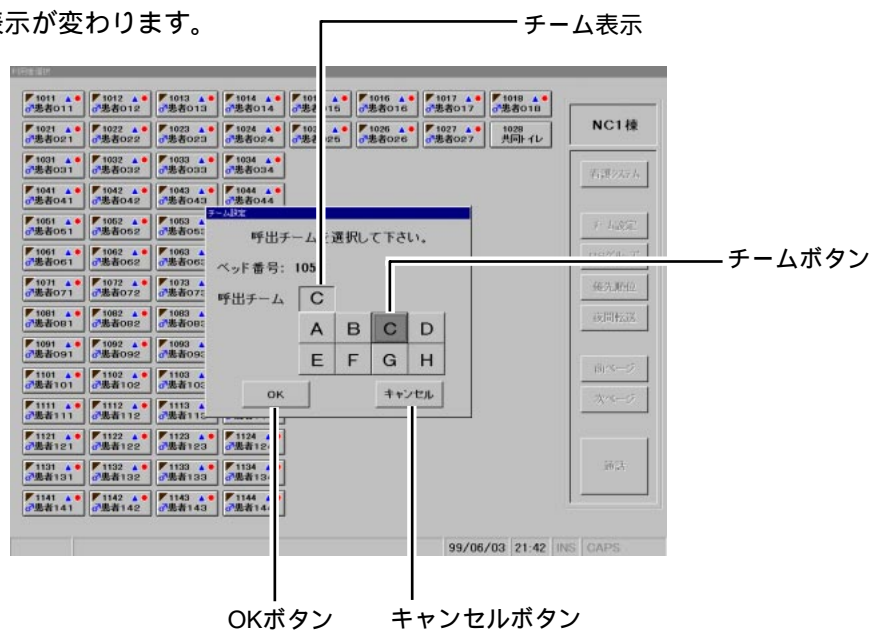
現在設定されているチームが表示されます。



上記1でタッチしたベッドボタンの色が元に戻ります。

3. 設定するチームボタンをタッチする。

画面 : チーム表示が変わります。



4. 「OK」ボタンをタッチする。

画面 : 利用者選択画面に戻ります。

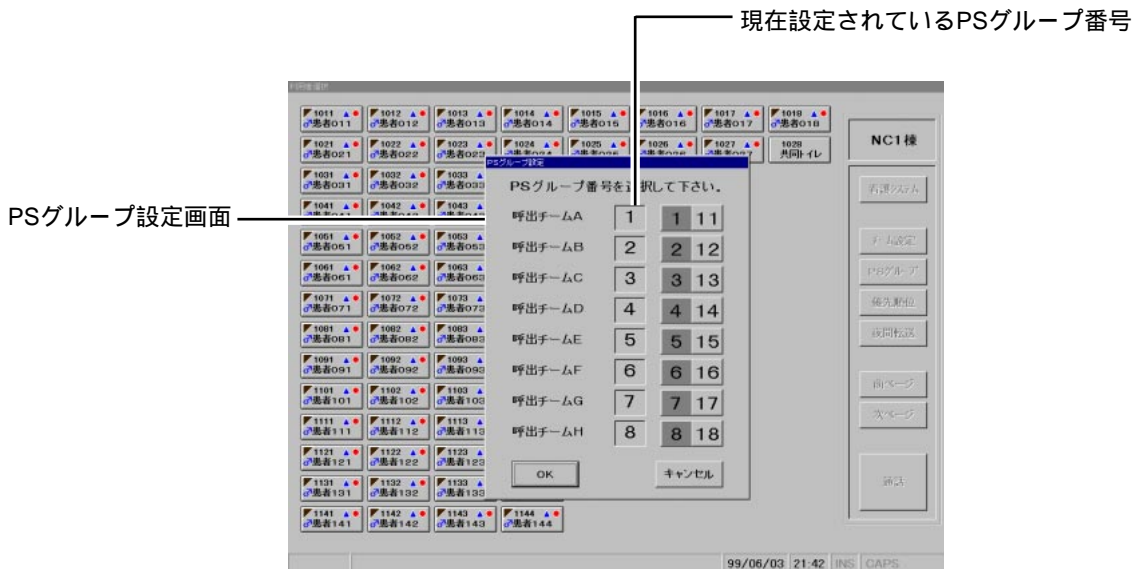
「キャンセル」ボタンをタッチすると、設定せずに終了します。

PSグループの設定

1. ベッドボタンを選択せずに、「PSグループ」ボタンをタッチする。

画面 : PSグループ設定画面が表示されます。

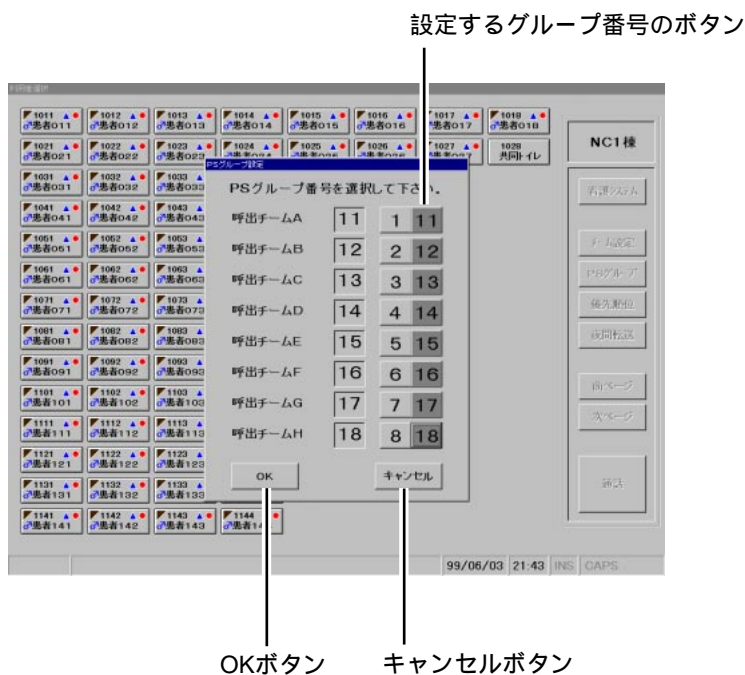
現在設定されているPSグループ番号が表示されます。



PSグループ番号（1～64まで設定可）は、画面作成時に設定されます。

2. 設定するグループ番号のボタンをタッチする。

画面 : グループ番号表示が変わります。



3. 「OK」ボタンをタッチする。

画面 : 利用者選択画面に戻ります。

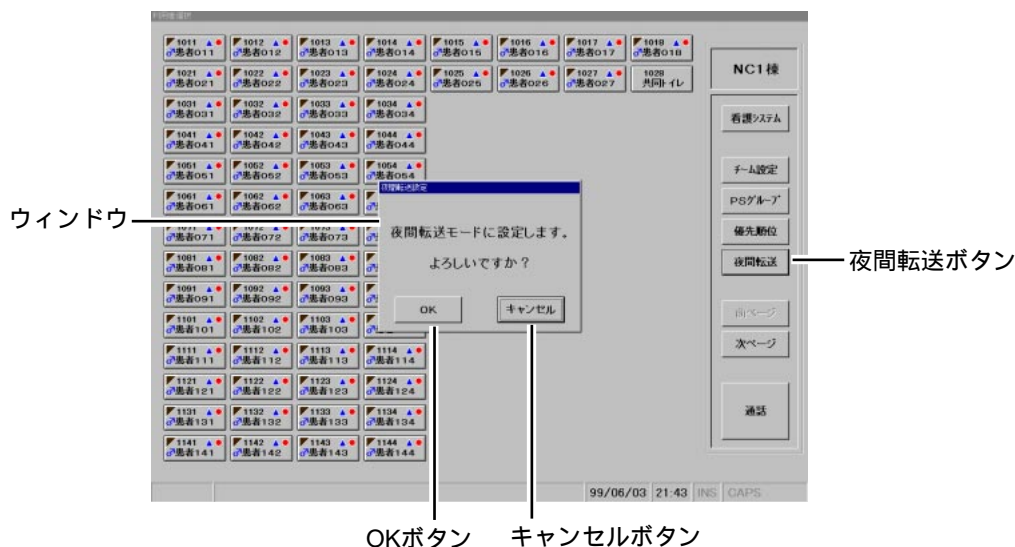
「キャンセル」ボタンをタッチすると、設定せずに終了します。

夜間転送の設定

お知らせ 親機で着信中、通話中、放送中は夜間転送の操作はできません。

1. 「夜間転送」ボタンをタッチする。

画面 : ウィンドウが表示されます。



2. 「OK」ボタンをタッチする。

画面 : 設定が解除されるまで「夜間転送中」と表示されます。

親機 : 夜間転送設定され、設定が解除されるまで転送ランプが点灯します。

「キャンセル」ボタンをタッチすると、夜間転送設定せずにウィンドウが閉じます。



夜間転送の解除

1. 「転送解除」ボタンをタッチする。

画面 : ウィンドウが表示されます。

2. 「OK」ボタンをタッチする。

画面 : 「夜間転送中」の表示が消去します。

親機 : 夜間転送設定が解除され、転送ランプが消灯します。

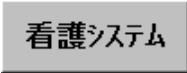
「キャンセル」ボタンをタッチすると、夜間転送設定を解除せずにウィンドウが閉じます。

看護支援システム

看護支援システムの起動

1. 「看護システム」ボタンをタッチする。

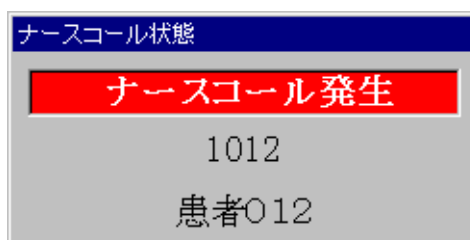
画面 : 看護支援システムが起動し、病棟配置図画面が表示されます。

A rectangular button with a grey background and black text that reads "看護システム".

お知らせ 看護支援システムの画面で、ナースコールの起動を選択すると、本ソフトウェアが起動します。

ポップアップ表示機能

看護支援システム画面表示中にナースコールが発生した場合、ナースコールの状態（発生、通話中など）をポップアップウィンドウで表示します。



看護グループ連動機能

看護支援システム内の看護グループを変更すると、本ソフトウェアの呼出チームも連動して変更されます。

ただし、ソフト導入時に連動ありに設定した場合のみです。

困ったとき

ソフトウェアが正常に動作しない

ソフトウェアに何らかの障害が発生し、正常に動作しなくなった場合、以下の対応（再起動）を試みてください。

1. ソフトウェアを終了し、パソコンの電源を切る。

ソフトウェアの終了 「本ソフトウェアの起動と終了/終了のしかた」(5ページ)を参照。
パソコンの電源を切る パソコンの取扱説明書を参照。

2. 再度パソコンの電源を入れる。

上記操作で、ソフトウェアが再起動します。
その後も正常に動作しない場合は、販売会社へご連絡ください。

画面に何も表示されない

画面に何も表示されなくなった場合、以下の対応を試みてください。

1. パソコンおよびディスプレイの電源が入っているか確認する。

2. 画面上をタッチする。

これにより、画面表示された場合は、スクリーンセーブ機能（ 1 ）によるもので異常ではありません。

上記操作後、何も表示されない場合は機器の故障が考えられます。
販売会社へご連絡ください。

- 1 ディスプレイの焼き付き防止機能です。一定時間操作が無いと、自動的に画面をセーバー画面に切り換えます。

タッチパネルが反応しない

画面上で、本来ならばタッチすれば反応する部分が反応しない場合は、以下の対応を試みてください。

1. ディスプレイからパソコン本体へのケーブルが抜けていないか確認する。

2. パソコンを再起動（ 2 ）する。

上記操作後、タッチパネルが反応しない場合は、機器の故障が考えられます。
販売会社へご連絡ください。

- 2 上記「ソフトウェアが正常に動作しない」を参照してください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お 買 っ 上 げ 日	年 月 日	品 番	VH-Y800
販 売 店 名	☎() -		

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

AA0699-0
C8QA5223AN

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地 電話(045)932-1231（代表）

© Matsushita Communication Industrial Co.,Ltd.（松下通信工業株式会社）1999